

# 事業所における自己評価結果（公表）

公表 令和3年3月10日

事業所名：古河市児童発達支援センター ぐるんぱ

職員数 17人 回収数 17 割合 100%

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15	2	0		
	2 職員配置数は適切であるか	11	6	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	13	4	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	3	0		
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	11	6	0	・今年度は、業務改善のため各業務毎にワーキングチームを立ち上げました。各チームで業務計画の立案や実施後の振り返りを行い、次年度の業務に活かせるような取り組みました。	・毎年発行される保健事業概要にぐるんぱの実績報告を行い、事業についての見直しをしています。ぐるんぱ内の業務についても担当ごとに見直しを行い、次年度につなげていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15	2	0		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15	2	0		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	7	4		・第三者評価は、現在のところは実施していません。今後の動向をみながら対応していきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15	2	0	・ケース検討会や外部講師を招いたオンライン研修などを職場内で実施しました。	
適切な支援の提供	10	13	4	0		
	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	13	4	0		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	6	0	・各職種でお子さんの評価に必要なアセスメントツールを使用しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	2	0		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	0	0		
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	14	3	0	・グループ訓練では、担当職員全員で活動プログラムの立案を行っています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16	1	0		
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	17	0	0		
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15	2	0		
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	16	1	0		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	17	0	0		
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	16	1	0		
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	13	4	0	・参加要請があった場合には、担当者が参加しています。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	15	1	1	・保護者の同意を得て、保育所や学校等と積極的に連携しています。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	8	7	1	・保健師や特別支援学校等と連携しながら支援を行っています。	

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	9	5	2	・急変時の対応については、協力医療機関とスムーズな対応ができるよう、マニュアルを作成しています。また、必要に応じて経過報告書を作成し、主治医との情報共有を図っています。	・職員会議や研修等で協力医療機関等との連絡体制について、職員間で情報共有を徹底します。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	3	0		
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	2	0		
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	8	3	・関係機関である発達障害者支援センターや医療機関が開催している研修や勉強会に職員が参加しています。	・茨城県発達支援通園事業連絡協議会に参加し、県内の動向について情報共有しています。 ・地域療育の質の向上を目標に、市内の他の児童発達支援事業所との連携を強化できるよう必要な取り組みについて今後検討していきます。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	4	9	・多くのお子さんが保育所・幼稚園に所属しているため、現在は特に活動の機会を設けていません。	・少人数ですが未就園のお子さんも利用されているため、今後の課題として検討します。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	11	2	4	・職員を派遣しています。会議内容については、職員で情報共有しています。	・自立支援協議会へ積極的に職員を派遣しています。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	17	0	0		
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5	5	7	・ペアレントトレーニングの研修会に職員を派遣しています。	・家族支援に関する新たな取り組みについて、今後検討していきます。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	16	1	0		
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	17	0	0		
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15	2	0		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	5	2	・今年度は、ママカフェや給食会を開催し、保護者同士の交流が図れる場を提供しました。	・来年度もママカフェ・給食会の開催を計画しています。今後も保護者の交流が図れるよう取り組みます。
	36 子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	2	0	・今年度より第三者委員を設立し、苦情窓口を新たに開設しました。詳細はセンター内の各所に掲示してあります。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	17	0	0		
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	17	0	0		
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	16	1	0		
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	4	5	・年1回、市民向けに児童発達支援講演会を開催しています。ただし、今年度は新型コロナウイルスの影響により中止としました。	・今後も取り組みを継続していきます。
非常時などの対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	14	2	0		
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	17	0	0	・月1回、定期的に親子で避難訓練を実施しています。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	16	0	0		・健康調査票を作成し、アレルギーや喘息などの有無や服薬状況、医療機関への受診状況等について定期的に確認していきます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	6	3		
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	17	0	0	・事例について記録し、職員間で情報を共有しています。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	3	0	・年1回、虐待・身体拘束に関する職員研修を実施しています。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	9	5	3	・これまで身体拘束の実施例がありませんが、今後やむを得ない事情で拘束が必要になった場合には、慎重に判断し、保護者への十分な説明を行っていきます。	